

消防だより

Vol.7

編集・発行 / 木更津市消防署 金田分署

担当 工藤・戸倉・相木

〒292-0009 木更津市金田東1-18-1

TEL 0438-40-1119

FAX 0438-40-1190

✉ sho-kaneda@city.kisarazu.lg.jp

春の火災予防運動です！ご協力をお願いします！

みなさんの防火意識の拡大を目的とし、火災による死亡者数を減らすため、毎年春と秋に各地域で実施されています。みなさんも以下の「4つの習慣・6つの対策」を参考にそれぞれのご家庭で住宅防火にご協力をお願いいたします。

火
の
防
び

いのちを守る **10** のポイント

4つの習慣

1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストーフの周りに燃えやすい物を置かない。
3. コンロを使う時は火のそばを離れない。
4. コンセントはほこいを清掃し、不必要なプラグは抜く。

6つの対策

1. 火災発生を防ぐために、ストーフやコンロ等は安全装置の付いた機器を使用する。
2. 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具・衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
4. 火災を小さいうちに消すために消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
5. お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
6. 防火防災訓練への参加・戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。



野外焼却行為は原則禁止されています

伐採した木、雑草の焼却を行う方が多数います。この時期は乾燥しているため火の燃え広がりが早く、一歩間違えると火災へ繋がってしまいます。

農業、林業又は漁業を営むためにやむを得ない焼却行為を行う際は、「風の強さ・風向きの確認、消火用具の準備、火の粉や大量の煙が出ないように少しずつ燃やし、火を消すまで絶対にその場を離れない、やむを得ず行う際は日の出から日没までに。」火の取り扱いには十分注意を払っていただくようお願いします。

消防署では、「火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出書」を受け付けています。これは火の使用を許可するものではなく、消防署が実施状況を把握するために提出していただくものです。気象状況・煙・異臭による苦情や火災予防上不適切な行為は消防隊が現地にて対応させていただく場合がございます。

皆様のご協力をお願いいたします

緊急走行している救急車の速度が遅いと感じたことはありませんか？

救急車は傷病者を安全に搬送するために、慎重に走行しています。スピードを出してしまうとストレッチャーに横たわる傷病者が跳ね上がるほどの激しい振動が伝わります。救急車の運転手は、傷病者の負担を軽減させるために揺らさないよう道路の凹凸や一般車両、歩行者にも注意しながら走行しています。くも膜下出血や脳出血、痛みを伴う骨折への振動には特に注意を払います。そして、車内では緊急を要する様々な救命処置が行われています。意識、呼吸がない傷病者には胸骨圧迫、電気ショックなど命を救うための処置を行っています。救える命を救うために、精一杯活動しています。

サイレンについて・・・

救急車のサイレン音に関しては近年、「聴こえづらい」という声もあります。サイレン音の音量基準は1951年から見直しがされていません。現在の車の作りは、遮音性・密閉性が高くなっており、さらにサイレン自体の周波数が、人によっては聴き取りづらい周波数の方もいるため、救急車の存在に気付かない原因の一つと考えられています。安全運転に気を配ると同時に、緊急車両の走行にもご協力をお願いします。

運転中にサイレンの音が良く聞こえず、気づいたら後ろに救急車がいて驚いたわ。



サイレンの音は聴こえるんだけど、どこの方角から救急車が来るか分からないから、気づいた時にはハンドル操作が遅れるんだよね。

一方で、近年は救急車のサイレン音が「うるさい」との声も多いようで、サイレンを製造するメーカーは、定められた基準の中で、音量を下げたり音質を柔らかくしたりという工夫をしているそうです。サイレン音には色々なモードがあり、救急車が走行する場面によって音を使い分けています。聞き取りやすい音質で、苦情にならないよう調整するのは難しいのです。



～ 緊急車両にご協力を！ ～

消防車や救急車などの緊急車両は、出動時にサイレンを鳴らし赤色灯を点灯させることで緊急走行をすることができますが、どのような場合においても交通状況の把握と安全確認は欠かせないものであり、皆様のご協力があるからこそ、より安全かつ迅速に緊急走行をすることができます。

また近年、当消防本部所有の消防車両も大型化が進み、金田分署管内には道路狭隘箇所もあることから、緊急走行時及び業務出向時にご迷惑をおかけすることもあると思います。皆様のご協力をよろしくお願いします。

特に出動時は1分1秒を争うため、ご理解とご協力をお願いします。

